

「エコシティたかつ」推進事業

持続可能な循環型都市構造の再生と創造、流域アプローチの展開を目指して ～ 100年後のたかつのまちのために～

写真：多摩川の水面

策定プロセス・事業推進スケジュール

「エコシティたかつ」推進会議
 設置目的等
 推進方針の策定とその推進(2008年6月2日設置)
 構成等
 学識者4、団体推薦4、公募4、区長推薦1、企業2
 (株式会社ミットヨ、川崎市新エネルギー振興協会)、
 校長会1行政3の21人、委員長:岸由二慶應大学教授
スケジュール等
 年度内に5回開催、1月パブリックコメント実施、
 1月21日「エコシティたかつ」推進フォーラム開催
 3月政策・調整会議付議、年度末策定・公表

調整プロセス等
 庁内検討委員会における調整
 推進会議における検討と並行して、環境局、まちづくり局、建設局等で構成される
 庁内検討委員会で庁内調整を実施
パブリックコメント等の実施
 パブリックコメント手続条例に基づく実施
 期間中に公開フォーラム、出前レク等を実施、
 参加型策定プロセスを重視
政策・調整会議への付議
 推進方針案を政策・調整会議へ付議

高津区区民会議における調査審議・先行的取組

調査活動
事前検討会議

学習会「地域からの地球温暖化対策について」
 環境局地球温暖化対策担当職員を講師に学習会を開催、
 地球温暖化の現状、川崎市の温室効果ガスに関する
 現状、地球温暖化対策地域推進計画、かわさき地球温暖化
 対策推進協議会などについて議論(2007年8月9日)
現地調査「水と緑のネットワークづくり」
 バスにより多摩川河川敷、円筒分水、市民健康の森、久
 末の農地、神庭(かにわ)緑地等を調査(2007年8月24日)
事前検討会議
 学習会、調査活動を踏まえ、現状と課題の整理、今後の
 方向性について協議(2007年9月19日)

本
会
議

第2回区民会議
 「環境まちづくり」の推進に向けて、普及啓発として「たか
 つエコネライフコンクール」の実施、緑化推進策として「緑
 のカーテン」づくり、緑地保全・活動支援策として「緑のまち
 づくりファンド」等について調査・審議(2007年10月18日)
 第3回区民会議
 推進施策のあり方等について調査・審議(12月20日)

ゴーヤーによる「緑のカーテン大作戦」の推進
 第4回区民会議(2008年3月13日開催)にて、友好自治
 体である那覇市から寄贈を受けたゴーヤーの種による「緑の
 カーテン大作戦」の先行的実施について協議・決定し、区民
 会議委員長名で、区内各町内会・自治会長に協力要請、モデル
 200世帯の推薦依頼、一般公募の50世帯と合わせて、計
 250世帯で展開、栽培講習会を開催、環境局による「緑のカー
 テン大作戦」と連携し、追加で種を300セット配布
 「環境まちづくり」について、
 第2期区民会議で引き続き
 調査・審議の予定

これまでの主な取組

2007
 高津区区民会議における「環境まちづくり」の調査審議
 8月9日学習会「地域からの地球温暖化対策について」
 8月24日現地調査「水と緑のネットワークづくり」
 記念講演会&エコ・エネ座談会の開催
 10月1日「地球温暖化 大丈夫？ 私たちはどうしたら？」
 区役所の屋上緑化の実施
 溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の策定
 「エコシティたかつ」循環型都市構造創造推進事業
 基礎調査の実施
 マルイファミリー溝口のレジ袋削減に伴う寄付受納

2008
 ゴーヤーによる「緑のカーテン大作戦」の展開
 モデル世帯の募集 250世帯
 講習会の開催 4月23日・24日
 種子の一般配布 300セット
 公共施設での「緑のカーテン」づくりの実施
 廃食用油の資源循環推進事業



基本目標(素案)

低炭素社会の実現
 ・京都議定書目標達成計画、川崎市地球温暖化対策地域推進計画、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)等と連動した地域からの実践により低炭素社会の実現を目指す。
 ・モデル事業の展開により家庭におけるCO₂削減を推進する。
 ・エコマインド醸成、エココンシャス向上に向けた普及啓発活動の展開と新たな文化・価値創造に取り組む。

自然共生型都市再生
 ・新・生物多様性国家戦略、川崎市環境基本計画、緑の基本計画等を踏まえ、生命(いのち)の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を、地域から推進する。
 ・流域アプローチによるランドスケープを重視した緑の保全と創造に取り組む。
 ・農的空間(市街化区域内生産緑地、市街化調整区域内農地)を活かしたまちづくりを進める。

防災都市づくりの推進
 ・海面水位の上昇、豪雨や台風の強度の増大、渇水の深刻化など、気候変動に適應しうる「水災害適応型社会」づくりを推進する。
 ・流域単位の重層的な治水対策を推進する。
 ・渇水リスクに対応して総合的水資源マネジメントを推進する。

第2回「エコシティたかつ」推進会議(2008年8月6日)で検討予定

施策展開の視点(素案)

<企画する>
 推進方針に基づく計画的な事業展開
 「エコシティたかつ」の推進に関する基本的な戦略となる推進方針(ロードマップ)等を市民協働で策定し、現状と課題、解決手法とそのプログラム、目指すべきまちづくりのイメージ等について広く共有化するとともに、統合的アプローチによる分野統合的・戦略的な事業展開を図る。

<調べる・知る・理解する>
 地域環境調査の実施・資源の把握
 市民参加型の地域環境調査の実施等により、区内の環境資源を的確に把握し、地域環境データマップ等を作成し、適切な資源マネジメントを推進する。

<学ぶ・育む>
 環境学習・教育の総合的推進
 区役所の環境展示場化(エコシティホール化)や環境学習・教育の場としての学校・地域・行政等の協働によるピオトープの整備等を進め、学びの環境整備と次世代を担う子どもたちの育ちの機会を多様化する。

<伝える>
 啓発事業・情報受発信の推進
 イベントの開催等による啓発事業の展開や区役所ホームページの活用等、多様な媒体による情報発信を推進し、広く区民による情報共有化を推進する。

<はじめる>
 実践的取組の展開
 中間スケールの戦略設定に基づき、生活に身近でまずできることから始める。

<つくる・緑のまちづくり>
 流域思考と緑の保全・回復・創造
 緑の豊かさはまちの豊かさであり、そこに住まう人々の生活の豊かさにつながり、かつ同時に気候変動への対応の重要なポイントでもある。流域アプローチによるまちづくりを進め、区内の緑の保全と回復、その創造を進めていく。

<考える・しくみづくり>
 制度設計・制度開発
 100年後の高津のまちのありようを見すえ、長期的な視点に立って、新たな制度設計・制度開発を進める。

第3回区民会議(2007年12月20日)資料等から作成

アクションプラン (例示)

短期的プログラム「10の実践」 <2年>
 地図による地域環境資源の共有化の促進
 流域アプローチによる学校ピオトープの計画的整備の推進
 橋地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進
 エコネライフコンクールなど普及啓発イベントの実施
 区役所の緑化、グリーン電力購入等、エコシティホール化推進
 緑のカーテン事業の展開
 緑化推進重点地区計画事業の推進
 雨水利用の促進
 再生可能エネルギーの利用促進
 まちなか油田プロジェクトの推進



中期的プログラム「7つの試み」 <5年>
 生ごみリサイクルシステムの構築
 行政区レベルでのSEA(戦略的環境アセスメント)の実施
 仮称「たかつ地域水循環計画」の策定
 複合型氾濫マップ(ハザードマップ)の協働作成
 円筒分水、かすみ堤の保全・活用による「緑のコリドー」の整備
 生物多様性保全地域モデル計画の作成
 水の道調査に基づく復元水系図の作成

長期的プログラム「5つの企て」 <10年>
 エコ・コミュニティ単位の自治制度の創出
 ニヶ領用水など区内小河川の再生
 生命地域による都市計画の推進
 小流域単位の総合治水の推進
 渇水リスクに対応した水資源マネジメント



検討課題「5つの提言」 <ASAP>
 自然共生型都市再生の推進に向けた新たな制度設計
 生産緑地など農的空間を活かしたまちづくりの推進
 脱自動車社会を目指した地域交通政策の再構築
 環境活動・資源保全に関する新たな資金支援制度の創出
 商店街活性化による中程度の密集度の住宅地の形成促進